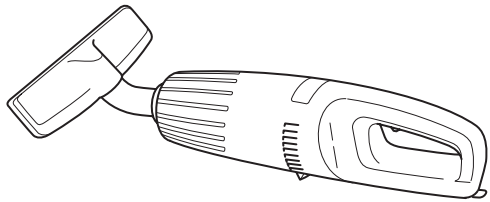


Makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル **4070DW**
(充電器 DC7020 付)



もくじ

- ・ 主要機能 ----- 2
- ・ 安全上のご注意 ---- 3 ~ 5
- ・ 各部の名称および標準付属品 - 6
- ・ 別販売品のご紹介 ----- 7
- ・ 充電のしかた ----- 8
- ・ スイッチの操作 ----- 9
- ・ 付属品の使い方 --- 9 ~ 11
- ・ ゴミの捨て方 ---- 11 ~ 12
- ・ ハンガーについて ----- 13
- ・ お手入れは ----- 13
- ・ 修理について ----- 14
- ・ 保証書 ----- 15

このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいで、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。





主要機能

主要機能	モデル	4070D
電動機		直流マグネットモータ
バッテリー		ニカドバッテリー
電圧		直流 7.2V
連続使用時間		約 8 ~ 10 分 (満充電時)
集じん容積		600mL
本機寸法		長さ 365mm × 幅 102mm × 高さ 104mm
質量		0.9kg
充電器		DC7020
入力電圧		単相交流 100V
入力周波数		50-60Hz
入力容量		6VA
出力電圧		直流 7.2V
出力電流		直流 0.3A
充電時間		約 3 時間

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明します。

絵表示の例



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

- ・ 灯油、ガソリン、たばこの吸いがらなど吸わせない。



- ・ 火災の原因となります。



- ・ 水洗いや風呂場での使用は絶対しない。



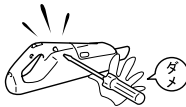
- ・ 感電する場合があります。



- ・ 絶対に分解したり修理・改造しない。



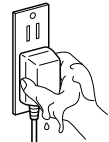
- ・ 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- ・ お手入れ・点検の際は、充電器をコンセントから抜く。また、雨中で充電したり、濡れた手で抜き差ししない。



- ・ 感電やけがをすることがあります。



- ・ 専用の充電器以外は使用しない。



- ・ 電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- ・ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- ・ 交流 100V で充電する。



- ・ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電しないでください。火災の原因になります。

⚠ 警告

- 電池は発熱、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしない。



- 端子に金属類を接触させないでください。
- 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
- 雨や水に濡らさないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 温度が 10℃未満、あるいは温度が 40℃以上では充電しないでください。
- 換気のよい場所で充電してください。
- 電池や充電器を充電中に布などで覆わないでください。
- 火中に投入しないでください。
- 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。

- バッテリーの液が目に入ったら、すぐにきれいな水で洗った後、医師の治療を受ける。



- 失明の恐れがあります。

- ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。



- 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。



- 爆発や火災の原因になります。



- 火気に近づけない。



- 本体の変形によるショート、発火の原因になります。

- 排気口をふさがない。

- 火災の原因になります。



- 吸引口をふさいで長時間運転しない。

- 過熱による本体の変形、発火の原因になります。



⚠ 注意

- ・ 充電器のコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、ショート、発火の原因になります。

- ・ 温度が 50℃ を超える可能性のある場所（炎天下の車内、火気や暖房器のそば）に保管しない。



- ・ 本体の変形による、ショート、発火の原因になります。

- ・ 充電しないときは、充電器をコンセントから抜く。



- ・ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- ・ 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。



- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- ・ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

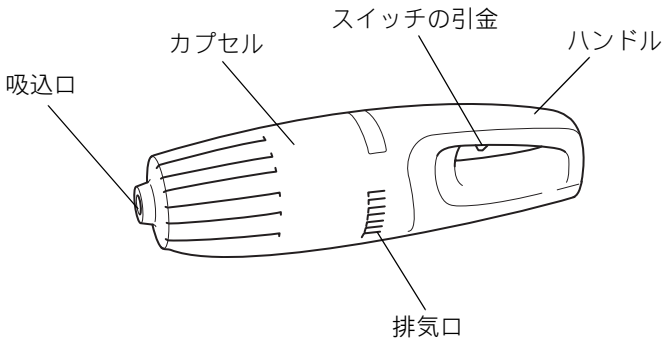


- ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、薬品、角のとがった所に近づけないでください。
- ・ コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。



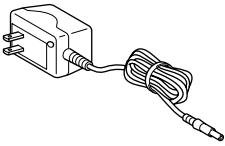
- ・ 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付ける。
- ・ 確実にないと、はずれたりして、けがの原因になります。
- ・ 高所で使用する時は、本体を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルや延長管を持たないで必ず本体のハンドルを持って運ぶ。
- ・ 本体などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。

各部の名称および標準付属品

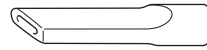


標準付属品

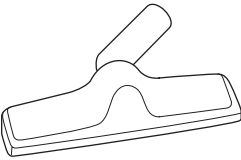
- ・ 充電器 DC7020



- ・ サッシノズル



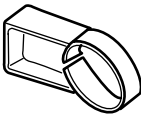
- ・ ノズル



- ・ 延長管



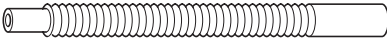
- ・ サッシノズルホルダ



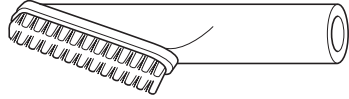
別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

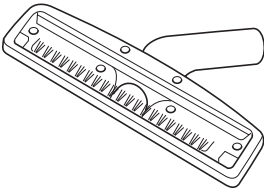
- ・ **フレキシブルホース**
部品番号 A-37568



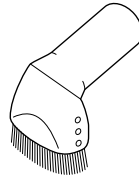
- ・ **たな用ブラシ**
部品番号 A-37552



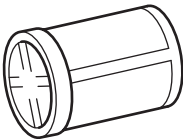
- ・ **じゅうたん用ノズル**
部品番号 A-37546



- ・ **ラウンドブラシ**
部品番号 A-37471



- ・ **プレフィルタ**
部品番号 A-43979



- ・ **フィルタ (1枚)**
部品番号 A-43963
- ・ **フィルタ (10枚)**
部品番号 A-50728

使い方

充電のしかた

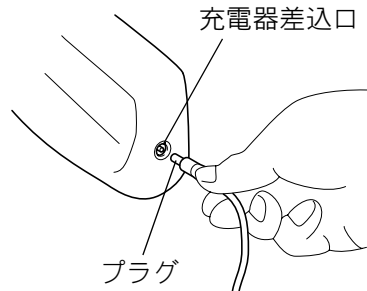
⚠ 警告



充電されるときは、スイッチ OFF の状態で必ず専用の充電器をお使いください。

- ・ 他の充電器を使用しますと、電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

- ・ はじめてご使用になるとき、長時間ご使用されなかったときは、電池が自己放電していますので必ず充電してからご使用ください。



- ・ 充電器差込口に充電器のプラグを接続した後、充電器を家庭用コンセントに差し込めば、充電がはじまります。

注

- ・ 充電状態のままお使いになりますと故障の原因になります。
- ・ 充電完了後は必ず本体から充電器のプラグを、コンセントからは充電器をはずしてください。
- ・ 新品や長期間使用されなかったときは充電時間が3時間以上かかります。また、1回の充電で満充電にならないことがあります。このようなときは、使用・充電を2～3回繰り返してください。
- ・ 24時間以上充電を続けると電池の寿命が短くなります。

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

スイッチの引金を引き、離れたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

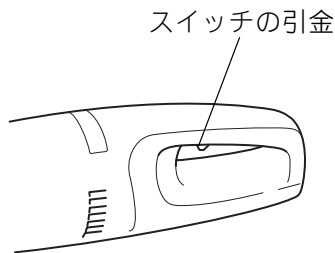
・スイッチの引金が正しく作動しないと、事故の恐れがあります。



- ・ スイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。

注

- ・ ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。



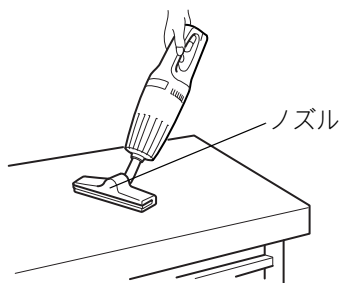
付属品の使い方

⚠ 警告

ノズルや延長管は使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。

ノズル

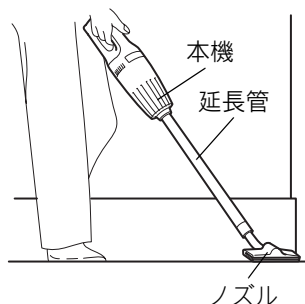
- ・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



使い方

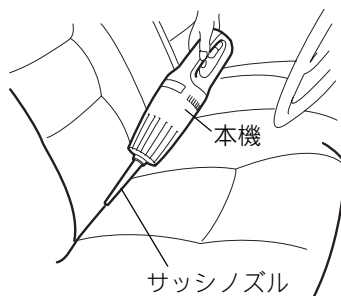
ノズル+延長管

- ・ たたみ・じゅうたん・床など低い所を掃除される時は、本機とノズルの間に延長管を差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除できます。



サッシノズル

- ・ 自動車の中や家具のすき間およびサッシの溝などを掃除される時は、サッシノズルを本機に直接差し込み、ご使用ください。



サッシノズル+延長管

- ・ 家具の奥など本機があたって入らないときや高い所のすき間などを掃除される時は、サッシノズルと本機の間延長管を差し込み、ご使用ください。



サッシノズルホルダ

- ・ サッシノズルホルダを延長管に通した後、サッシノズルをサッシノズルホルダに取り付けておくことができます。



使い方

ちり落としについて

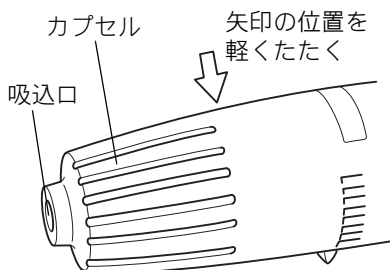
- ・ 吸込力が弱くなったときは、スイッチを切った状態で吸込口を上に向けてカプセルを手で4～5回軽くたたいてください。フィルタ、プレフィルタの目づまりが解消し、吸込力が回復します。

注

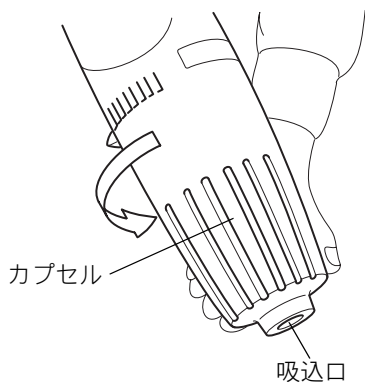
- ・ ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。

ゴミの捨て方

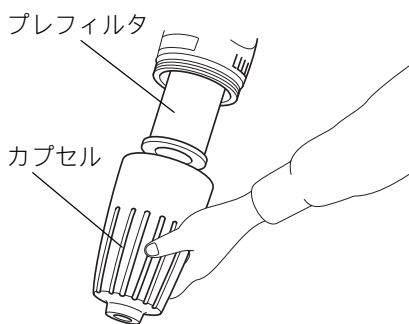
- ・ ゴミが落ちないように吸込口を上に向けて、カプセルを手で4～5回軽くたたいてください。



- ・ 吸込口を下に向けて図の矢印方向に回し、ゴミがこぼれないようにゆっくり真直ぐカプセルを取り外してください。

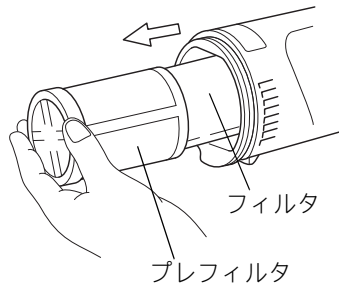


- ・ カプセル内のゴミとプレフィルタに付着したゴミを落としてください。

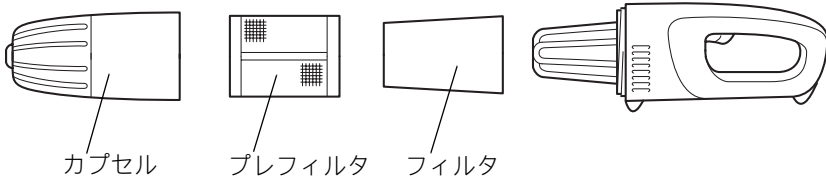


使い方

- ・ プレフィルタを回しながら手前に引き抜き、中の細かいゴミを捨て、次にフィルタを取り出し軽くたたきゴミを振り落としてください。



ゴミ処理が終わりましたら、下図のように組み立ててください。
まず、フィルタを本機の奥までしっかりかぶせプレフィルタを差し込んだ後、カプセルを確実にネジ込みます。



注

- ・ フィルタ、プレフィルタが奥までしっかり差し込まれていなかったり、やぶれたフィルタをしまいますと、モータ内部にゴミが入り故障の原因になりますので注意してください。
- ・ カプセルは本機にしっかりとネジ込んでください。また、標準付属品（ノズル等）を脱着される時は、カプセルがしまる方向へ回しながら行ってください。反対方向へ回して脱着されると、カプセルがゆるむ事がありますのでご注意ください。

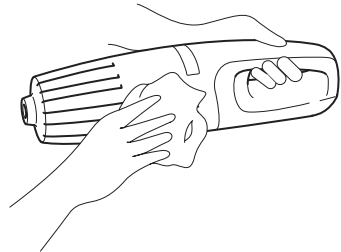
使い方

ハンガーについて

- ・ ご使用後や保管するときは、本機裏側のハンガーをおこし、市販の吊り金具などに引っ掛けておくと便利です。

お手入れは

- ・ 本機の汚れは、布に石けん水を少量しみ込ませてふきとってください。



注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー等は、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないで下さい。
- ・ フィルタは時々石けん水でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸塵力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。



洗濯機では絶対に洗わないでください。

修理について

修理をされる前に

- ・ ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

症状	調べるところ	直しかた
吸込力が弱い	<ul style="list-style-type: none">・ カプセルの中のゴミが一杯になっていませんか。・ フィルタが目詰まりしていませんか。・ バッテリーが消耗していませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ ゴミを捨ててください。・ フィルタをはたくか、水洗いしてください・ 充電してください。
動かない	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーが消耗していませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ 充電してください。
充電できない	<ul style="list-style-type: none">・ 満充電できない。・ 充電器のコードが傷ついていませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ 新品または長期間使用されなかったバッテリーは、使用→充電を2～3回繰り返してください。・ 使用直後など熱い場合は、バッテリーが十分に冷えてから充電してください。・ 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にお持ちください。

修理について

- ・ 上表にしたがってお調べいただいても直らないときは、電池が寿命の可能性がります。その場合さらに充電されずと充電器も故障する場合がありますので、修理をご依頼ください。
- ・ ご自分で修理なされないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理を依頼される場合は、クリーナー本機の他に充電器も一緒にお持ちください。
- ・ 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参下さい。
- ・ 保証期間が過ぎているときは、販売店または当社営業所にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

マキタ充電式クリーナ保証書

モデル		製造番号	
お買い上げ日		保証期間	1年
お客様名 ご住所			
販売店名			

※お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内に、取扱説明書、本体ラベル等の注意書に従った正常な使いかたをしていて故障した場合は、本書の記載内容にもとづき無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障した場合は、製品と保証書を添えてお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
3. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 誤ったご使用方法および改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧などによる故障および損傷。
 - (4) 本書のご提示がない場合。
 - (5) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (6) 消耗品（ダストバッグ、電池）の交換。
4. ご転居の場合やご贈答品等で、本書に記入の販売店で修理が受けられない場合は、お近くの当社営業所にお申し付けください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお問い合わせください。

881296N0

NNP

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)